

学年	教科	単元名	児童	場所	指導者
6年	国語科	「やまなし」	6年1組31名	6年1組教室	東 菜摘

1 単元について

単元マップ

見方・考え方が高まった姿

「やまなし」の魅力は、造語・擬態語・色・比喩などの表現や2つの場面の対比、作品全体が不思議で謎が多いところなどがある。

まとめる
広げる

知識・技能「何が分かるようになるか・何が出来るようになるか」

「やまなし」を読んだ、感想や疑問から学習計画を立て、単元の見通しをもつ。①②	賢治独特の造語は、読む人によって様々に想像することができる楽しさがあることに気付く。③	「五月」と「十二月」の2つの場面のかにの兄弟の心情や、情景を表す色について対比する。④⑤	比喩が使われていることで、場面の様子を豊かに想像することができることに気付く。⑥	賢治の生き方や考え方を知り、それに対する自分の考えをもつ。⑦
--	---	--	--	--------------------------------

用語・語句

・学習計画 ・叙述	・造語 ・擬態語 ・擬音語	・対比 ・心情 ・情景	・比喩	・作者の生き方、考え方
--------------	---------------------	-------------------	-----	-------------

単元を通した問題解決的な学習の過程



つかむ
見通す

追究する

本単元で育てたい資質・能力

【知識・技能】

○比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。

【思考力、判断力、表現力等】

○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりすること。

【学びに向かう力，人間性等】

○言葉がもつよさを認識するとともに，進んで読書をし，国語の大切さを自覚して，思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

単元・題材について

C 読むこと

エ 登場人物の相互関係や心情，場面についての描写を捉え，優れた叙述について自分の考えをまとめること。

本単元「やまなし」は，宮沢賢治の代表作品である「やまなし」と，補助資料として賢治の伝記「イーハトーヴの夢」で構成されている。「やまなし」は，賢治独特の読書の想像力をかき立てる表現や象徴的な表現が多用され，賢治の生き方や考え方が色濃く反映された作品といえる。伝記「イーハトーヴの夢」は，賢治の生涯や賢治が追い求めた理想についてまとめられている。作品自体の読み取りに加え，テーマや作者の生き方や考え方を関連させて読み深めることのできる教材である。

また，「やまなし」は，リズムのよい擬音語・擬態語，賢治が作った造語，豊かな色彩表現，多用される比喩など，賢治独特の言葉の響きの美しさ，不思議さ，魅力にあふれている作品である。

児童の実態

本学級の児童は，全国学力学習状況調査の国語Bにおいて，「登場人物の相互関係や心情，場面についての描写を捉える」は全国正答率75.9%に対して83.3%，「物語を読み，具体的な叙述を基に理由を明確にして，自分の考えをまとめる」は全国正答率43.7%に対して53.3%と，どちらも全国正答率を上回っている。

児童は4月の学習単元である「カレーライス」という物語で，登場人物の行動や心情，登場人物の相互関係について読み取る学習や，物語を読んで感じたことをまとめる学習をしてきている。登場人物の行動や心情などを捉えることができるようになってきている一方で，情景描写を捉えて場面の様子を鮮明にイメージしたり，作品の世界に浸って深く味わおうとしたりする様子はあまり見られない。

また，児童の読書経験の差は大きい。どの児童も，多様な考えに触れながら読み深めることができるよう，児童同士での交流を適宜取り入れていく。

単元の目標

場面についての描写を捉え、作品の中で使われている表現を味わいながら、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。

単元の指導について

「やまなし」の読み取りをするときには、これまで学習してきた登場人物の心情の変化や物語の山場の読み取りなどでは、困難さを感じる児童が多く出てくると思われる。児童が初めて「やまなし」を読んだときの「わからない」「難しい」「不思議」という思いから、学習計画を立て、単元を通して児童の疑問を解決していくことができるようにする。

「五月」と「十二月」を読んで、かへの兄弟の心情や上から落ちてきた「かわせみ」と「やまなし」、色や明るさなどを比べ、2つの場面が対比の構造になっていることに気付かせたい。

対比する中で捉えた色彩表現の他に、比喩や擬態語・擬音語の表現があることにも気付かせ、比喩による表現によって感じ方がどのように変わるのか、比喩表現を多用するよさや理由について考えさせていく。

優れた表現に触れながら、自分なりの根拠とこだわりの読みによって、人それぞれに感じ方が大きく変わる賢治作品に浸る楽しさを味わわせたい。

「五月」「十二月」の二つの幻灯の対比構造や宮沢賢治独特の表現方法が物語全体にちりばめられていることが一目で分かるように、本文を拡大した掲示物や本文全体を見渡すことのできる学習シートを活用する。

教室には、宮沢賢治の他の作品も用意して、児童が自由に読むことができるようにする。

単元の評価規準

【国語への 関心・意欲・態度】	【読む能力】	【言語についての 知識・理解・技能】
①物語の情景や言葉の使い方に興味をもったり、作品の魅力を考えようとしていたりしている。 ②作者の生き方や考え方に関心をもっている。	①比喩や擬音語・擬態語などを基に情景を想像して読んでいる。 ②場面についての描写を捉えて、優れた叙述について自分の考えをまとめている。	①語のリズムや表現上の特色に気付いている。

子どもの深い学びの姿

場面についての描写を捉え、色彩表現、比喩、擬音語・擬態語などの表現を味わいながら、優れた叙述について自分の考えをもち、作品の世界に浸っている子ども。

2 単元の指導計画

【8時間扱い 本時 6/8時間】

次時	○おもな学習活動 ・ 具体的内容 □まとめ	教師の評価規準 (評価方法) ◇到達が不十分な児童への指導の手立て
オリエンテーション	<p>○「やまなし」を読んで、学習課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やまなし」の範読を聞く。 ・初めの感想を書く(印象に残ったところ・気付いたこと・疑問点・感想)。 ・感想や疑問を基に、学習課題を立てる。 <p>① ふしぎな物語「やまなし」の謎を探ろう!</p> <p>思考を活性化させるアクティブ化ポイント① 「意味がわからない」などの率直な感想を基にして、謎だらけの「やまなし」の謎を解決していくという課題意識をもたせる。</p>	<p>【関意態①】</p> <p>「やまなし」を読んで不思議に思ったこと、印象に残ったことなどから疑問をもち、「やまなし」の謎を探ろうとしている。</p> <p>(発言・観察)</p> <p>◇範読を聞く前に感想の観点を示して、観点を意識して聞くことができるようにする。</p>
つかむ・見通す	<p>○学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の気付きや疑問から、学習計画を立てる。 ・色、比喩、擬態語・擬音語などの言葉探しをする。 ・語句の意味や読みを確認する。 <p>②</p>	<p>【言】</p> <p>「やまなし」に出てくるいろいろな表現を見付けている。</p> <p>(発言・観察)</p> <p>◇グループで言葉探しをしたり、全体で確認をしたりして、全員が表現を見付けられるようにする。</p>
追究する	<p>○「クラムボン」とは何なのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「クラムボン」についての叙述を見付ける。 ・「クラムボン」は何だと思うか自分の考えをもつ。 ・その根拠となる言葉を文中から探し、自分の考えをまとめる。 ・「クラムボン」とは何なのかそれぞれの考えを交流する。 <p>③</p> <p>「クラムボン」は、読む人によって様々に想像することができる楽しさがある。</p>	<p>【読】</p> <p>「クラムボン」が何なのか根拠をもって自分の考えをまとめている。</p> <p>(発言・ノート)</p> <p>◇友達が考えた「クラムボン」から賛成できるものを選ばせて、根拠となる叙述を考えさせる。</p>
追究する	<p>○「五月」と「十二月」のかにの兄弟の心情や場面の様子を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かにの行動や会話を読み取る。 ・「かわせみ」と「やまなし」が出てきたときのかにの様子について考える。 ・五月と十二月の2つが書かれているのはなぜか考える。 <p>④</p> <p>「五月」と「十二月」では、かにの兄弟の心情や場面の様子が対比して書かれている。</p>	<p>【読】</p> <p>かにの兄弟の心情や場面の様子を捉えながら読んでいる。</p> <p>(発言・ノート)</p> <p>◇かにの兄弟の言葉に注目させて心情を考えさせる。</p>

追究する	⑤	<p>○「五月」と「十二月」を読んで、色が使われる効果を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「五月」と「十二月」の色による違いを考える。 ・やまなしが黒いのは、なぜか考える。 <p>色を使うことで、場面の雰囲気や視点の違いを表している。</p>	<p>【読】</p> <p>色彩表現の豊かさに気付き、色が使われる効果について考えている。</p> <p>(発言・ノート)</p> <p>思考を活性化させるアクティブ化ポイント② 普通はその色で書かれないものがなぜその色なのか考えさせ、普段見ているものと作品中の視点の違いに気付かせる。</p> <p>◇前時で学習したかのにの兄弟の心情と使われている色を関連させて考えさせる。</p>
	⑥ (本時)	<p>○比喩を見つけて、その表現のよさを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比喩が使われている部分の様子を考え、比喩が使われない表現に書き換える。 ・比喩があるものとなないものを比べて、比喩のよさを考えて交流する。 ・「やまなし」の初稿を見て、なぜ賢治がその言葉を使ったのか考える。 <p>比喩が使われていることで、場面の様子を豊かに想像することができる。</p>	<p>【読】</p> <p>作品中に使われている比喩のよさを考えている。</p> <p>(発言・ノート)</p> <p>思考を活性化させるアクティブ化ポイント③ 「やまなし」の初稿から何度か書き直していることを知り、なぜ書き直したのかを考えることで、比喩のよさについて考える。</p> <p>◇様子を表す言葉を示したり、場面の様子を表す図を一緒に描いたりしながら、場面の様子について考えさせる。</p>
まとめる・広げる	⑦	<p>○「イーハトーヴの夢」を読み、宮沢賢治の生き方や考え方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賢治の生き方や考え方を読み取る。 ・賢治がどんな人なのか自分の考えをまとめる。 	<p>【関意態②】</p> <p>宮沢賢治の生き方や考え方に興味をもっている。</p> <p>(発言・ノート)</p> <p>◇宮沢賢治の理想が書かれている文に注目させて、賢治がどんな人なのか考えさせる。</p>
	⑧	<p>○「やまなし」の魅力について自分の思いをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文を引用する。 ・使われている言葉や表現、人物の心情、物語の構造などから物語の魅力についてまとめる。 ・自分が書いた魅力を紹介する。 <p>「やまなし」の魅力は、造語・擬態語・色・比喩などの表現や2つの場面の対比、作品全体が不思議で謎が多いところなどがある。</p>	<p>【読】</p> <p>場面についての描写を捉えて、優れた叙述について自分の考えをまとめている。</p> <p>(発言・ノート)</p> <p>◇前時までの学習を振り返り、「やまなし」の魅力だと思うところを選ばせる。</p>

パフォーマンス・シート 「やまなし」 8時間学習

名前 _____

★学習課題★ ふしぎな物語『やまなし』の謎を解き明かそう！

	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
学習内容	「クラムボン」の正体を探る！	「五月」と「十二月」の謎を探る！	色が使われる謎を探る！	比喩の謎を探る！	賢治の生き方や考え方について考える！	「やまなし」の謎を解決する！ 謎解き度100%
☆☆☆☆	クラムボンの叙述の効果を見つめる。	「五月」と「十二月」の関係を具体的な言葉で表す。	読んだことのある本に出てくる色の効果と比べながら読む。	比喩のよさについて考え、なぜ賢治がその言葉を選んだのか考える。	賢治の生き方や考え方が、複数の賢治作品にどのように表れているかを考える。	他の賢治作品と関連させながら、「やまなし」の魅力をまとめ、友達に伝えている。
☆☆☆☆	「クラムボン」について自分の考えと友達の考えを比べる。	かにの兄弟の心情や場面の様子を考え、「五月」と「十二月」の関係を見つける。	複数の色を比べながら、その色が使われる理由について考えている。	比喩が使われるよさについて複数の視点で考えている。	「やまなし」のどのようなところに賢治の生き方や考え方が表れているかを考える。	作者の思いを取り入れながら、「やまなし」の魅力をまとめ友達に伝えている。
☆☆☆☆	叙述から根拠を見つけ、「クラムボン」が何なのか考える。	かにの兄弟の心情や場面の様子について考える。	「やまなし」に出てくる色の効果を考える。	比喩が使われている文の様子や、比喩が使われるよさを考える。	宮沢賢治の生き方や考え方から、賢治がどんな人なのか考える。	「やまなし」の魅力についてまとめ、友達に伝えている。
☆☆	「クラムボン」が何なのか、想像したことを書く。	かにの兄弟の心情について感じたことを書く。	色から感じた場面の様子について考えている。	比喩が使われている文から感じたことを書く。	宮沢賢治の生き方や考え方について、わかったことを書く。	「やまなし」の魅力が表れている文を選ぶ。
謎解き度	%	%	%	%	%	%

「イーハトーヴの夢」を読んで、賢治の生き方や考え方について考える！

宮沢賢治の生き方や考え方が、複数の賢治の作品にどのようか表れているかを考える。

「やまなし」のどのよつなとこのどろに宮沢賢治の生き方や考え方が表れているかを考える。

宮沢賢治の生き方や考え方から、賢治がどんな人なのかを考える。

宮沢賢治の生き方や考え方について、わかったことを書く。

3 本時の学習

(1) 目標

比喩が使われている文から様子を捉え、比喩が使われるよさに気付くことができるようにする。

(2) 展開【8時間扱い6／8時間目】

*一単位時間レベルB-②【対話重視】

	児童の活動	思考	□教師の働きかけ ◆教師の評価(評価方法) *思考を活性化させるアクティブ化ポイント
導入 3分	1 本時の学習を確認する。	全体	□学習計画を見て、今日の学習を確認させる。
	2 本時の課題を確認する。		
	比喩が使われている場面の様子を考え、比喩が使われるよさを考えよう!		
展開 32分	3 パフォーマンスシートを読んで自己課題を設定する。		
	4 比喩が使われているところを確かめて線を引く。	グループ	□比喩だけでなく、現実には起こらないことを置き換えている表現なども含めて考えさせる。
	5 比喩が使われている文が表す様子を考え、比喩を使わない表現に置き換えてみる。 ・P.118 L11～ 「波は、いよいよ <u>青白いほのお</u> をゆらゆらと上げました。それはまた、 <u>金剛石の粉</u> をはいているようでした。」	全	□短く区切って、それぞれの言葉からどんな様子が想像できるか考えさせる。
	6 比喩が使われている文を1つ選んで、その文がどんな様子を表しているかを考え、比喩を使わない表現に書き換える。	個	□場面の様子が思い浮かばない児童には、短い言葉に注目させたり、場面の様子を表す図を一緒に描いたりしながら、考えさせる。
	7 比喩があるものとなないものを比較して比喩のよさについて考える。	個	◆比喩が使われるよさについて自分の考えを書いている。
8 比喩のよさについて考えたことを交流する。 ・美しい様子を表す ・様子がよく伝わる ・想像がふくらむ ・作者のイメージを伝える	全	□読み手の視点と書き手の視点でよさが出てきた場合には、分けて板書する。	
9 「やまなし」の初稿と教科書の文を比較して、比喩のよさについて考える。 ・「鉄色に変に底光りして」→「まばゆく白く光って」	個	□賢治がなぜその言葉を選んだのか考えさせる。 *「やまなし」の初稿について知り、なぜ書き直したのかを考えることで、比喩のよさについて考える。	

終末 10分	10 比喩のよさについてまとめる。	全	□比喩のよさについて，読み手と書き手の視点からまとめる。
	比喩が使われていることで，読み手は場面の様子を豊かに想像して読むことができる。		
	11 パフォーマンスシートに学びの振り返りを書く。		

(3) 評価

◇評価規準の具体（評価方法～ノート）

【読むこと】

十分に満足できる（A）： 比喩が使われている文の様子や，比喩が使われるよさについて複数の視点から考えている。

おおむね満足できる（B）： 比喩が使われている文の様子や，比喩が使われるよさについて考えて書いている。

努力を要する児童への指導： 様子を表す言葉を示したり，場面の様子を表す図と一緒に描いたりしながら，場面の様子について考えさせる。

(4) 板書計画

比喩が使われていることで，場面の様子を豊かに想像することができた。

初稿の文章

× 初稿には…ない！

- ・ 水銀のように光って
- × 青白く光って
- ・ 鉄色に変に底光りして
- × まばゆく白く光って
- ・ 金剛石の粉をはいている

- ・ 美しい様子を表す
- ・ 様子がよく伝わる
- ・ 想像がふくらむ

◎ 比喩を使うよさとは…

- ↓ ダイヤモンドの粉 ↓ 白い粉が吹き出る
- × それはまた、水しぶきを上げていました。

それはまた、金剛石の粉をはいているようでした。

↓ ガスバーナーの火がゆれる

× 波は、ゆれていました。

波は、いよいよ青白いほのおをゆらゆらと上げました。

比喩が使われている場面の様子をいびく、比喩が使われるゆびをきくとゆび。